学校番号	2003

平成 31 年度地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2019（帝国書院）、2019 データブックオブ･ザ･ワールド（二宮書店）、ウィニングコンパス地理の整理と演習 2019（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界諸地域の空間的事象を知る。
空間的事象に「なぜ」という視点を持つ。
世界諸地域の歴史・文化・社会の相違を踏まえて、現代の日本の在り方も含めて考察する。
現代社会の抱える諸課題について考察する。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の地理的な諸課題についての関心と課題意識を高め、それを意識的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	世界の地理的事象から課題を見出し、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の課程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計・画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身につける。	世界の地理的な課題についての基本的な事柄や追及の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能	1章　地理情報と地図 1節　地図の発達 2節　地図の種類とその利用 3節　地理情報の地図化	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:地図について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:リモートセンシング・ＧＮＳＳ・ＧＩＳなどを利用してつくられた地図の有用性について考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:作成方法や世界観が異なる現代世界のさまざまな地図を収集・比較し、有用な情報を適切に選択できる。 d:統計地図の種類や長所短所、適する用途を理解し、その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
		2章　地図の活用と地域調査 1節　地図の活用 2節　身近な地域の調査	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:地形図の読図や資料収集などを意欲的に行い、地域調査に対する関心と課題意識を高めている。 b:地形図や資料を活用した地域調査を通して生活圏の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:地形図の読図などを通して、調査内容に関する地域の情報を適切に収集・選択できる。 d:地域調査の情報収集から発表までの方法および地形図や空中写真の利用方法を理解し、その知識を身につけている。	
	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	1章　自然環境 1節　世界の地形 2節　世界の気候 3節　日本の自然の特徴と人々の生活 4節　環境問題	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:分布・特徴・成因について関心を高め、災害や土地利用など人間生活とのかかわりについて意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:地域ごとの違いや特徴を、地球規模の循環現象などと関連付けて考察するとともに、人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:データや写真などの諸資料から有用な情報を適切に選択し、特徴や課題を読み取ることができる。 d:地形・気候・環境問題について系統的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。	
		2章　自然と産業 1節　世界の農林水産業 2節　食料問題 3節　世界のエネルギー・鉱産資源 4節　資源・エネルギー問題 5節　世界の工業 6節　第3次産業 7節　世界を結ぶ交通・通信 8節　現代世界の貿易と経済圏	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界の産業・資源・交通・貿易などの動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:地域差や近年の動向について、情報化や国際化進展の影響などをふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:統計などの諸資料から有用な情報を適切に選択し、現代世界の動向や地域間関係について読み取ることができる。 d:発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を理解し、その知識を身につけている。用語を適切に理解している。	

		3章　人口、都市・村落 1節　世界の人口 2節　人口問題 3節　村落と都市 4節　都市・居住問題	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:人口や都市・村落に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:動向や構造を地域の歴史や自然条件、社会条件などをふまえて多面的・多角的に比較・考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:統計や地図などの諸資料から有用な情報を適切に選択し、特徴を読み取ることができる。 d:背景や機能を理解し、その知識を身につけている。諸問題の特徴や解決への道筋などを理解し、その知識を身につけている。	
		4章　生活文化、民族・宗教 1節　世界の衣食住 2節　民族と宗教 3節　現代世界の国家 4節　民族・領土問題	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:生活を取り巻くさまざまな環境を踏まえて多面的・多角的に考察し、変化の背景や結果を適切に表現できる。 c:各種データの中から有用な情報を適切に選択し、特徴について読み取ることができる。 d:世界の諸民族の文化についてさまざまな特徴を理解し、その知識を身につけている。	
後期	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察	1章　現代世界の地域区分 1節　地域区分とは何か	○	○	○	○	a:地域区分の有用性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:地域区分について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:さまざまな地域区分を示した図から有用な情報を適切に選択し、読み取ることができる。 d:地域区分の目的や意義、方法、有用性を理解し、その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
		2章　現代世界の諸地域 1節　地域の考察方法 2節　東アジア 3節　東南アジア 4節　南アジア 5節　西アジアと中央アジア 6節　北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節　ヨーロッパ 8節　ロシア 9節　アングロアメリカ 10節　ラテンアメリカ 11節　オセアニア	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:諸地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:歴史的背景をふまえた地域の変容、地域的特色や地球的課題を項目ごとに整理して考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択して、これを基に地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d:地域の特徴、日本との関係を含む歴史的背景をふまえた地域の変容や諸課題を理解し、その知識を身につけている。	
		3章　現代世界と日本 1節　日本が抱える地理的な諸課題 2節　日本が抱える課題の追究	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:諸課題について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:諸課題についてこれまでの歴史的経緯などをふまえ、その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:統計などを適切に収集し、そこから有用な情報を適切に選択して、これを基に諸課題の原因や展望などが読み取ることができる。 d:日本の現状と今後重要となる取り組みを理解し、その知識を身につけている。	